資　料　編

資料1　主要ボランティア派遣団体対照表

各団体の概要

団体及び国	設立年	組織の性格	政府との関係	総予算	累計実績（派遣中人数）	派遣国総数（派遣中国数）	
アメリカ平和部隊（APC）1989年2月現在	1961年	大統領直轄の独立機関	連邦政府からのODA 100%	146,200千US$（約190億円）	約12万人（5,786人）	92カ国（65カ国）	徴兵義務履行を延期できる基本法あり
イギリス海外ボランタリィ・サービス（VSO）1988年3月現在	1958年	社団法人・慈善団体 海外開発省所管	海外開発省下の「英国ボランティア計画（BVP）」からのODA 82%	8,562千ポンド（約19億2千万円）	約3万人（1,125人）	N. A.（41カ国）	
フランス発展ボランティア協会（AFVP）1987年12月現在	1963年	民間の協会 援助省所管	援助省からのODA 54.8%	1億3,790万フラン（約29億円）	N. A.（497人）	N. A.（30カ国）	兵役義務の代替えができる
カナダ大学海外奉仕会（CUSO）1988年3月現在	1961年	大学を中心とする社団法人	国際開発庁（CIDA）からのODA 84.3%	25,340千C$（約27億9千万円）	N. A.（575人）	N. A.（40カ国）	基本法あり
ドイツ開発奉仕事業団（DED）1988年1月現在	1963年	公益有限会社 経済協力省所管	経済協力省からのODA 100%	83,696千DM（約58億6千万円）	N. A.（910人）	N. A.（30カ国）	兵役免除 基本法あり
青年海外協力隊（JOCV）1989年2月現在	1965年	特殊法人 外務省所管	外務省からのODA（交付金） 100%	約102億円	8,671人（1,849人）	48カ国（38カ国）	
国連ボランティア（UNV）1989年2月現在	1971年	国際連合（UN）内のプログラム。事務はUNDPが管承，調整	国際機関のため，諸政府機関，NGO，専門機関，関係機構との協力関係はあるが，支配従属関係はない	UNDPからの拠出額350万USドル（約4億5,500万円）SVF額実績130万USドル（約1億6,900万円）	5,931人（1,560人）	（102カ国）	

団体別資金源

団体及び国	政府補助（ODA）	NGO	受入国負担	個人・企業等の寄付	その他
アメリカ平和部隊（APC）1989年2月現在	100.0%	有		有	USAIDや国際機関からプロジェクト資金援助を受けている。
イギリス海外ボランタリィ・サービス（VSO）1988年3月現在	82.0%	a）	ボランティアの住居費・生活費を負担する。	b）	特別プログラム資金 4% 投資収入 3% a）＋b）＝11%
フランス発展ボランティア協会（AFVP）1987年12月現在	54.8%	c）		d）	e） c）＋d）＋e）＝45.2%
カナダ大学海外奉仕会（CUSO）1988年3月現在	84.3%	5.2%	ボランティアの住居費・生活費を負担する。	9.2%	1.3% 会費，個人・企業の寄付あり 又，物品補助もある。
ドイツ開発奉仕事業団（DED）1988年1月現在	100.0%				ドイツ政府機関及び民間組織からプロジェクト，プログラムベースで拠出金を受けている。
青年海外協力隊（JOCV）1989年2月現在	100.0%				
国連ボランティア（UNV）1989年2月現在	各国政府分担金，信託基金，受入機関の負担，及びSVF（Special Volunteers Fund），IPF（Indicative Planning Figure（事業計画指標）ーUNDPが5年単位で対象国に定める資金額）等の一部を流用するものと考えられる				

団体別ボランティア派遣数（地域別及び業務内容別）

（　）内は%　　c) together　515人（27.9%）

団体及び国	ボランティア派遣数				地域別			業務内容別										
	男性	女性	合計	夫婦ともボランティア	アフリカ	アジア太平洋	ラテン・アメリカカリブ	行政	農・林水産業	建築	通信交通	教育	保健	工学	職業技術	科学開発	社会事業	その他
アメリカ平和部隊（APC）1989年2月現在			5,786		2,477 (42.8)	1,957 (33.8)	1,352											
イギリス海外ボランタリィ・サービス（VSO）1988年3月現在			1,125（うちUNV 5名）		570 (50.7)	453 (40.3)	97 (8.6)		天然資源 138 (12.3)			471 (41.9)	127 (11.3)	211 (18.7)			157（ビジネスを含む）(13.9)	21（UNV）(1.9)
フランス発展ボランティア協会（AFVP）1987年12月現在			497		481 (96.8)		ハイチのみ 16 (3.2)		(31.8)				(11.4)	(27.3)	(6.8)		(6.8)	(15.9)
カナダ大学海外奉仕会（CUSO）1988年3月現在			575		196	220	159											
ドイツ開発奉仕事業団（DED）1988年1月現在	693 (76.2)	217 (23.8)	910（うちEFP 22名）		584 (64.2)	125 (13.7)	201 (22.1)		220 (24.2)			163 (17.9)	14 (16.0)		338 (37.1)		42 (4.6)	22（EFP）＋1（DED事務）
青年海外協力隊（JOCV）1989年2月現在	1,340 (72.5)	509 (27.5)	1,849		619 (33.5)	841 (45.5)	389 (21.0)		林・水産業含む 432 (23.4)	c)		458 (24.8)	220 (11.9)	c)	63 (3.4)			スポーツ 104(5.6) その他 57(3.1)
国連ボランティア（UNV）1989年2月現在	* (84.8)	* (15.2)	1,560		726 (46.5)	391 (25.1)	91 (5.9)		*255 (20.4) 天然資源エネルギー含む		* 66 (5.3)	* 190 (15.2)	* 171 (13.6)	* 40 (3.2)	* 63 (5.0)	* 14 (1.1)	* 373 (29.9) 社会環境 青少年・人間居住 開発計画	*人道主義援助 43(3.4) 国際貿易 18(1.4) 人口12(0.9) 文化 8(0.6)
					＋アラブ・ヨーロッパ147(9.4)													

*は1987年11月時点での数値（派遣総数1,253人）＋特別プログラム

団体別ボランティアの資格

団体及び国	年齢（平均年齢）	国籍・市民権	学歴	職歴	技能の有無	扶養家族の有無
アメリカ平和部隊（APC）1989年2月現在	18歳以上上限なし（31歳）	要アメリカ国籍	高卒程度	特になし		原則的には独身で、扶養家族の随伴は認められない。
イギリス海外ボランタリィ・サービス（VSO）1989年3月現在	22歳―65歳（31歳）	英国、EEC加盟国市民もしくはコモンウエルス加盟国市民	特になし	特になし	何らかの技術・職業経験保持者を対象	原則的には独身で、扶養家族の随伴は認められない。又就業中の出産は任期終了後をまつことが勧告される。
フランス発展ボランティア協会（AFVP）1987年12月現在	21歳―30歳	要フランス国籍	大学入学資格＋入学後2年の学歴	特になし	専門技術資格を有すること。86年度に、85%が上級技術者資格（短大卒なみ）、三分の一以上に技師又はドクターの資格（大学院卒なみ）をもっていた。	原則的には独身で扶養家族の随伴は認められない
カナダ大学海外奉仕会（CUSO）1989年1月現在	年齢制限なし	カナダ国籍保持者又はカナダ国のlanded immigrant status保持者	学歴・職歴・技能が総合的に考慮される			扶養家族の随伴は必ずしも奨励されないが認められる。子供の随伴も必ずしも奨励されないが、就学年齢前2人まで認められる。
ドイツ開発奉仕事業団（DED）1988年1月現在	18歳以上上限なし	ドイツ国籍保持者又は西ヨーロッパ出身で、ドイツ語に堪能な者或いはドイツ人ボランティアを配偶者にもつ途上国専門家	高卒程度	最低2年の専門職経験を有すること（EFPボランティアは職歴必要なし）	専門技術を備えていること	原則的には独身であることが望ましいが既婚者でも構わない。また扶養家族の随伴も認められており、扶養家族手当もある
青年海外協力隊（JOCV）1989年2月現在	20歳―35歳	要日本国籍	特になし PhD/MA100人 大卒1,137人 専門技術学校出身612人	実務経験の有る事が望ましい	専門技術・技能を有すること	原則的には独身・既婚者でも扶養家族の随伴は認められない。（シニア隊員の場合は随伴可）
国連ボランティア（UNV）1989年2月現在		なし	大卒又は専門技術学校卒程度	最低2年間の職業経験要	専門技術・技能を有すること	随伴可能。日々の手当の35～37%を支給

団体別ボランティアの待遇

団体及び国	生活手当	住居手当又は住居	渡航費	赴任手当	国内復帰手当	特典
アメリカ平和部隊（APC）1989年2月現在	任国ごとに基準が違う（ボランティアに対してのみ）	APC負担	APC負担（ボランティアに対してのみ）	任国ごとに基準が違う（任国の生活水準を目安に）	ボランティアに対し200US$×在勤月数（平均約4,800USドル＝624,000円）	休暇手当が任期1年後に支給される。
イギリス海外ボランタリー・サービス（VSO）1989年3月現在	受入機関側の規約に準ずる（ボランティアに対してのみ）	受入国又は受入機関が負担，提供	VSO負担（ボランティアに対してのみ）	370ポンド	2年間の勤続 ― 1,008ポンド 4年間の勤続 ― 3,528ポンド （ボランティアに対してのみ）	1年目末の国内旅行費 189～229ポンド 帰国後の失業保険の適用，2年以上の勤務者に対する任期延長手当
フランス発展ボランティア協会（AFVP）1989年3月現在	2,840フラン（約6万円）～4,600フラン（約9.7万円）（ボランティアに対してのみ）	AFVPが住居を確保	AFVP負担（ボランティアに対してのみ）19,392フラン	無	2.4万フラン（約50.4万円）（ボランティアに対してのみ）	帰国後の失業手当
カナダ大学海外奉仕会（CUSO）1989年1月現在	受入機関側の規約に準ずる（受入機関に資力がない場合CUSOが肩代わりをする）	受入国又は受入機関が負担，提供，又はCUSOかボランティア自身による負担	ボランティアと随伴家族に対しCUSOが負担	支度料＋着後手当がCUSOより支給される。支度料はボランティアに対し500C$，配偶者がいればさらに500C$，子供一人につき250C$が支給される。	ボランティアに対し1,650C$×在勤年数，配偶者がいればさらに1,650C$×(同)子供がいれば825C$×(同)	就任期間中CUSOがボランティアに対し4半期ごとに400C$の手当を支給。又，任期延長者に対し延長手当の支給有。
ドイツ開発奉仕事業団（DED）1988年1月現在	基本的にボランティアに対し月額1,153DM，配偶者50%，子供1につき25%	基本的には受入国が提供，不可能な場合はDED負担	DED負担 配偶者・子供の分も支払われる	ボランティアに対し 平均2,585DM 配偶者 50% 子供1人につき 25%	ボランティアに対し 250DM×在勤月数 配偶者 50% 子供1人につき 25%	帰国後の失業保険の適用
青年海外協力隊（JOCV）1989年2月現在	US$270～505（月額）（ボランティアに対してのみ）	基本的には受入国提供，不可能な場合はJOCV負担	JOCV負担	約45万円 注1）	国内積立金の形で支払われる。国内在任期間（月額5万円）＋現地在任期間（月額9万円）＝231万円	
国連ボランティア（UNV）1989年2月現在	US$395～755（月額）（家族同伴の場合約40%増額）	受入国負担	UNV又はスポンサー機関負担	24カ月契約の場合 2カ月分の生活手当相当 延長の場合別に定める（期間に比例）	UNV又はスポンサー機関の規定に準ずる（12カ月未満の在任者に対しては上限500ドルまで支給）	

注1） JOCVの赴任手当＝移転料＋支度料＋着後手当

団体別派遣制度

団体及び国	任務期間	延長の可・不可	渡航費・国内復帰手当の支給に必要最低限の在任期間	休暇			一時帰国		
				年休	産休	祝祭日	渡航費支給の有無	時期	忌引等の一時帰国の有無
アメリカ平和部隊（APC）1989年2月現在	2年	1年	2年	2年の在任期間中に45日間の休暇がとれる	30日	有	任期延長時のみ	18カ月後	第1親族の死に際してのみ有
イギリス海外ボランタリィ・サービス（VSO）1989年3月現在	2年	リミットなし	2年	任国に準じ3週間以上	無	有	任期延長時のみ	24カ月後	有
フランス発展ボランティア協会（AFVP）1987年12月現在	2年	1年（延長者全体の10%）	2年	15日	—	有	無		有
カナダ大学海外奉仕会（CUSO）1989年1月現在	2年	リミットなし	2年	任国・任地の習慣に準ずる			1年以上の任期延長者のみ	24カ月後	有
ドイツ開発奉仕事業団（DED）1988年1月現在	2年	4年	渡航費の支給に下限なし。国内復帰手当の支給には最低6ヶ月間の勤務を要する。	30日	出産後8カ月間	任国に準ずる	1年以上の任期延長者のみ（2年ごとに50日間の休暇が与えられる）	24カ月後	有
青年海外協力隊（JOCV）1989年2月現在	2年	1～2年程度	2年	任国の公務員の休日と同じ日数	—	任国に準ずる	任期延長時及び療養時のみ	24カ月後	第一親族の死に際してのみ有。他は私費
国連ボランティア（UNV）1989年2月現在	2年	2年の延長可6年以上の在任に対してはUNとの契約は認めない	6カ月	30日	12週間	無	さらに24カ月の任期延長時のみ	24カ月後	無

団体別ボランティアの義務・権利

団体及び国	交通手段の提供		報告義務		ボランティア・トレーニング		任期の短縮（恣意的理由による）		
	提供の有無	修理費・維持費支払いの有無	報告時期	報告者	派遣前訓練	現地訓練	短縮とみなされる任期期間	短縮者数	短縮理由
アメリカ平和部隊（APC）1989年2月現在	単車又は自転車が提供される場合あり	有	任期終了時	ボランティア駐在員プロジェクト責任者	2，3日	6～8週間の技術・語学訓練及び現地事情の研修 計約3カ月	契約前の任期切りあげ	—	—
イギリス海外ボランタリィ・サービス（VSO）1989年3月現在	受入機関側が提供	無	着任2～3カ月後及び各年	ボランティア駐在員プロジェクト責任者	2，3週間～3カ月の語学訓練，任国講座，教授法	—	赴任後いつ切りあげてもよい	—	—
フランス発展ボランティア協会（AFVP）1987年12月現在	単車	有	契約終了時	ボランティア	3，4カ月～1年の技術訓練	2，3カ月の語学訓練	—	—	—
カナダ大学海外奉仕会（CUSO）1989年1月現在	業務上必要とされる場合のみ受入機関又はCUSOが提供	有	不定	駐在員	1カ月半～4カ月	9～10週間の語学訓練	2年未満	—	—
ドイツ開発奉仕事業団（DED）1988年1月現在	受入機関側が提供。提供できない場合はDEDが月額200DMまで交通費を支給。	有	一年に一度及び契約終了時にファイナル提出	ボランティア及び駐在員	3カ月の語学訓練，任国事情，異文化理解講座，ワークショップ，技術訓練等	約1カ月の語学研修その他の訓練	赴任後いつ切り上げてもよい	—	—
青年海外協力隊（JOCV）1989年2月現在	自動車・単車又は自転車の貸与可	有	赴任して3カ月，6カ月，12カ月，18カ月，24カ月目	隊員及び駐在員	80日間の合宿訓練	1カ月の語学訓練（西・仏語特別訓練有）	2年未満	—	—
国連ボランティア（UNV）1989年2月現在	公的交通手段がない場合，単車又は自転車	有	4カ月後 12カ月後 21カ月後	ボランティア（責任者又はUNDP担当者のコメント要）	—	—	6カ月未満	1981年に11人 1982年に14人	個人的理由又は健康上の理由

団体別ボランティアの保障制度

団体及び国	健康保険	歯科保険	身体障害保険	生命保険	財産保険（資）	母国での社会保障	その他
アメリカ平和部隊（APC）1989年2月現在	ボランティアに対してのみ有	—	—	ボランティアに対してのみ有	—	ボランティアに対してのみ有	帰国後の医療サービス有（有効期限6カ月）
イギリス海外ボランタリィ・サービス（VSO）1989年3月現在	ボランティアに対してのみ有	—	ボランティアに対してのみ有	ボランティアに対してのみ有	—	ボランティアに対してのみ有	—
フランス発展ボランティア協会（AFVP）1987年12月現在	ボランティアに対してのみ有	ボランティアに対してのみ有	ボランティアに対してのみ有	ボランティアに対してのみ有	—	ボランティアに対してのみ有	—
カナダ大学海外奉仕会（CUSO）1989年1月現在	有	有	有	有	ボランティア自身が負担	—	—
ドイツ開発奉仕事業団（DED）1988年1月現在	有	有	有	有	有（5,000DMまで，妻帯者に10,000DMまで，また子供1人につき2,000DM加算）	ボランティアに対してのみ有	—
青年海外協力隊（JOCV）1989年2月現在	ボランティアに対してのみ有（共済給付制度）	ボランティアに対してのみ有	ボランティアに対してのみ有（一般隊員の場合）	ボランティア本人及びJOCVにて分担負担	有（任意）	復合補償制度有	一般健康診断，任期中の医療サービス，帰国後の医療サービス（有効期限3年）
国連ボランティア（UNV）1989年2月現在	有	健康保険に含まれる	有	有	無 但し緊急事態に際した資産の損傷には補償が支払われる	N.A.（スポンサー機関がJOCVの場合は，JOCV規定に基づく）	—

団体別ボランティア帰国後の処遇・活動

団体及び国	ボランティア国内復帰のための支援	リ・オリエンテーションの有無	ボランティアOBの帰国後の活動	ボランティアOB会（ex-volunteers association）
アメリカ平和部隊（APC）1989年2月現在	進路相談・就職あっせん，帰国後1年間の政府機関への無試験就職，50以上の大学院で元ボランティアへの奨学金制度，12学部で単位付与が認められている	無	1981年時点で，全職員の65%，在外駐在員の70%が隊員OB	有
イギリス海外ボランタリィ・サービス（VSO）1989年3月現在	就職相談	有	帰国ボランティアは自動的に2年間VSOメンバーとなる。VSOの地方グループを組織構成，募金活動，開発教育プログラム，ボランティアの募集にあたる。	VSOから資金をえたReturned Volunteer Association（RVA）が活動
フランス発展ボランティア協会（AFVP）1987年12月現在	再就職のためのセミナーの開催 就職先（特に教師）のあっせん，個別の就職相談	有 技術研修等もある	AFVP業務への協力	AFVPと協力して活動 V et D（Volontaires et Développment）
カナダ大学海外奉仕会（CUSO）1989年1月現在	無	有	国内におけるCUSO開発教育プログラムの担い手となるほか，地方委員会を組織してボランティアの募集・選考にあたる。CUSO本部職員となる者も多い。	CUSO会員として CUSO自身の中に吸収される
ドイツ開発奉仕事業団（DED）1988年1月現在	Kubel財団内の『帰国開発協力専門家の援護会』が承職相談を行なっている。条件をみたせば職業訓練，勉学のための資金援助も行なう。	有	国内での開発協力に関する啓蒙活動，開発教育	N. A.
青年海外協力隊（JOCV）1989年2月現在	進路相談	有	協力隊行事への協力参加 国内各地域での啓発活動	社会法人「海外青年協力協会」あり（協会の中にJOCA発足）
国連ボランティア（UNV）1989年2月現在	情報提供，推せん，UN機関内のポストの紹介	適宜有	無	無

資料2　主要参考文献リスト

<一　般>

- 『世界の主たるボランティアの派遣状況』，青年海外協力隊事務局，１９８３年3月
- 『他国ボランティアの実態調査』，青年海外協力隊事務局，１９８０年１２月
- 室靖「ボランティアの国際的系譜」，青年海外協力隊事務局機関誌『若い力』（現『クロスロード』），１９７６年4月号～８月号

<アメリカ平和部隊>

- Making A Difference — The Peace Corps at Twenty - Five, 1986年
- Peace Corps - Twenty fifth Anniversary Commemorative Program, １９８６年9月
- Peace Cors - The Toughest Job You'll Ever Love
- Peace Corps in the 80's, June １９８６年
- Peace Corps Annual Report, FY1987 & FY1988
- Peace Corps FY1985 Annual Report
- Peace Corps News, Feb. １９８９

<イギリス・ボランタリィ・サービス>

- VSO Annual Review １９８８
- VSO Orbit（会員季刊誌），Winter １９８８／８９，№31
- VSO Information pack
- VSO Handbook １９８８／１９８９
- British Overseas Aid １９８６ - Annual Review, Overseas Development Administration

<フランス>

－ＡＦＶＰ発行の１９８７年の活動報告書三点

① Atlas des Operations

② Rapport d'Activités

③ Rapport Moral

－ＡＦＶＰ季刊の機関紙：

Volontaires №１～№４ 1987, 1988

<カナダ>

－ＣＩＤＡ発行の文献：

① Annual Report（１９８６～１９８７）

② Sharing Our Future（１９８７年刊行）

③ NGO DIVISION－Introduction and Guide（１９８６年刊行）

－ＣＵＳＯ発行の文献

① ＣＵＳＯ Annual Report １９８７－１９８８

② Policy and Procedures Guide for CUSO Cooperants １９８８－１９８９

③ ＣＵＳＯ季刊の機関紙：CUSO FORUM（１９８７年2月～１９８８年8月）

<ドイツ開発援助事業団>

- ded Dokumentation：Statusbericht '84, '85, '87, '88
- ded Betrifft：Zusammenarbeit, 25 Jahre Deutscher Entwicklungsdienst Dietrich Reimer Verlag, １９８８
- ded Brief, １９８５, １９８６, １９８７, １９８８（会員季刊誌）
- Jahresbericht ded '85, '86, '87

<国連ボランティア>

- Role and Potential, United Nations Volunteers（UNV）
- History and Concept, United Nations Volunteers（UNV）, １９８５年1月
- The United Nations Volunteers－An Overview（UNV）
- 『国連ボランティア計画の歴史／背景』（『国連ボランティア計画』参考資料）１９８８年１０月
- United Nations Volunteers and Participatory Development, UNV, １９８６年１０月
- Programming Guidelines：United Nations Volunteers（UNV）
- UNV Programme at a glance, UNV
- United Nations Volunteers："The Alternative Way"
- 中田勝巳『ＵＮＤＰ－国際連合開発計画』１９８５年５月

資料3　団体別図表インデックス

『アメリカ平和部隊』（APC）
表1－1：平和部隊派遣者推移（1961－1988）…… P.16
表1－2：平和部隊予算額 …… P.18
表1－3：国別ボランティア派遣数（1989年2月現在数値）…… P.21
表1－4：地域別ボランティア派遣数（1961－1985）…… P.26
表1－5：分野別ボランティア派遣数（1962－1985）…… P.27
表1－6：平和部隊のボランティア派遣国一覧（1961－1986年9月）…… PP.28～29
表1－7：年令別ボランティア数（研修生を含む）の推移（1962－1985）…… P.33

図1－1：平和部隊組織図（1989年3月現在）…… P.17
図1－2：平和部隊派遣者数推移 …… P.20
図1－3：州別帰国ボランティア・研修生数（1961－1985）…… P.43

グラフ1－1：平和部隊予算額の推移（1962－1990）…… P.19
グラフ1－2：ボランティア平均年令の推移（1962－1990）…… P.33
グラフ1－3：年令別ボランティア数（1988年1月現在）…… P.34
グラフ1－4：性別ボランティア数の推移（1962－1990）…… P.34
グラフ1－5：ボランティア志願数の推移（1980－1990）…… P.35

『イギリス海外ボランタリィ・サービス』（VSO）
表2－1：VSO予算内訳（1988年3月現在数値）…… P.50
表2－2：VSOの派遣中ボランティア数（1988年3月現在数値）…… P.53
表2－3：地域別ボランティア数 …… P.54
表2－4：分野別ボランティア数 …… P.54
表2－5：VSO国別活動状況一覧（1988年3月現在）…… PP.57～59
表2－6：VSO期間ごとの手当支給額（1988年現在数値）…… P.62
表2－7：各団体のボランティア派遣数（1986年12月／1987年12月現在数値）…… P.67

図2－1：VSO組織図（1988年3月現在）…… P.48
図2－2：VSO事業予算の内訳（1986年3月現在）…… P.49

付録1：VSO1986／88年度収支決算（1986年4月－1988年3月現在）…… P.68
付録2：VSO協議会執行委員会メンバー一覧（1988年3月現在）…… P.69

『フランス発展ボランティア協会』（AFVP）
表3－1：AFVP予算の推移 …… P.75
表3－2：プロジェクト総数の推移 …… P.77
表3－3：1987年のプロジェクト実施状況（1987年12月現在数値）…… P.79

図3－1：AFVP組織図 …… P.74
図3－2：AFVP予算の推移グラフ …… P.75

図3－3：1987年実施プロジェクトの分野別割合 …… P. 77
図3－4：1987年実施プロジェクトの開始年による分別 …… P. 77
図3－5：AFVPのボランティア派遣状況（1987年12月現在） …… P. 78
図3－6：ボランティア・リクルートのプロセス …… P. 83
図3－7：1987年中に個別検討の対象となった候補者686人の
1988年5月1日現在における状況 …… P. 85
図3－8：ボランティアの活動分野別割合（1987年現在） …… P. 86

付　録：AFVP総会・理事会メンバー（1987年12月現在） …… P. 88

『CUSO』
表4－1：カナダのNGOへのODA資金 …… PP.95～97
表4－2：CUSO予算（1988年3月現在数値） …… P. 100
表4－3：CUSOコーペラントの配属状況（1988/4～1989/3） …… P. 105

図4－1：CUSOの組織図 …… P. 98
図4－2：CUSOの海外支出（地域別） …… P. 101
図4－3：CUSOの総収入内訳（1982年度－1987年度） …… P. 102
図4－4：CUSOの総支出内訳（1982年度－1987年度） …… P. 102

『ドイツ開発奉仕事業団』（DED）
表5－1：DED理事会の構成（1987年度） …… P. 119
表5－2：DEDの1987年度予算案 …… P. 119
表5－3：DEDの海外ボランティア数の推移 …… P. 120
表5－4：DED国別派遣中人数（1988年1月現在） …… P. 122
表5－5：DEDの分野別派遣人数 …… P. 123
表5－6：DED配属先別ボランティア数 …… P. 123

図5－1：DED業務執行部の組織図（1988年1月現在） …… P. 118
図5－2：DEDボランティア派遣国（1987年現在） …… P. 135

『国連ボランティア計画』（UNV）
表6－1：活動中ボランティアの出身国（1988年10月現在数値） …… P. 145
表6－2：ボランティア派遣国一覧（1988年10月現在数値） …… PP.148～149
表6－3：活動分野別ボランティア派遣数（1987年11月現在数値） …… P. 150
表6－4：出資機関別ボランティア派遣数 …… P. 150

図6－1：UNVプログラムの成長（1971－1987） …… P. 146
図6－2：地域別UNV派遣数1982－1987間の変化 …… P. 151
図6－3：年齢別・性別派遣ボランティア数（1987年11月現在数値） …… P. 152
図6－4：配偶者有無別ボランティア数（1987年11月現在数値） …… P. 153
図6－5：専門別ボランティア志願者比率（1987年9月現在） …… P. 154
図6－6：出身別・性別・扶養家族有無別ボランティア志願者数（1987年9月現在） …… P. 154

JAPAN OVERSEAS COOPERATION VOLUNTEERS